

# 白山市行政経営指針2020

**令和2年度 行財政改革取組事項実施報告**

**令和3年度 行財政改革取組事項実施計画**

# 13の重点項目別達成目標に係る取り組み 令和2年度実施報告・令和3年度実施計画

## 1 行政戦略

### ① 業務執行体制の充実

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
1	事務事業総点検の充実	⑯平和 ⑰実施手段	PDCAマネジメントサイクルの実施 プロジェクトチームを活用した事務事業の実施	令和2年度	・中期計画・予算編成時に見直しを実施 ・プロジェクトチーム数 H30:7チーム、R元:9チーム、R2:8チーム (例)多文化共生推進庁内連絡会 R2.10策定「多文化共生のまちづくり推進指針」
				新型コロナ	オンライン会議、個別意見聴取など開催方法を工夫
				令和3年度	・中期計画・予算編成時に見直しを実施 ・プロジェクトチームを積極的に活用
		⑪都市	公用車更新計画に基づく適正管理 H30.4～公用車(一般車両)を車両管理室で 一括管理  目標:R6年度に稼働率71%	令和2年度	使用率向上、適正台数の更新整備の実施 R2 更新台数 9台(13台廃棄)、稼働率 66.1%
				新型コロナ	事業・研修減少により稼働率は低下、駐車場の位置変更や管理方法の見直しを図った。
				令和3年度	使用率向上、適正台数の更新整備の実施 R3 更新予定台数 9台(12台廃棄)
⑰実施手段	総合計画に基づくPDCAマネジメントサイクルの実施	令和2年度	第2次総合計画(計画期間H29-R8) 総合計画審議会を開催し、目標指標の達成状況を把握 7月22日開催(参加委員 9人)		
		令和3年度	総合計画に基づくPDCAマネジメントサイクルの実施 後期基本計画の策定を予定しており、審議会委員の改選もあることから例年より会議を多く開催する予定		

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
2	組織機構の改革推進	⑯平和 ⑰実施手段	市民ニーズに対応した組織機構の改編 ※毎年度、組織機構を見直し	令和2年度	所管業務の見直し ・白山ろく産業土木課の農業関係業務を本庁農業振興課に一元化 ・R2.4.1～協働推進課、SDGs・地方創生推進室、ICT活用推進室を新設。 ・選挙管理委員会を総務課内に統合 等
				令和3年度	国が9/1にデジタル庁を設置するのに合わせ、情報統計課・ICT活用推進室→デジタル課に変更
3	SDGsの推進	⑰実施手段	SDGs推進本部会議の定例化 普及啓発事業の充実 H29 推進本部設置、普及啓発活動を行う。 R元.10月 市内18郵便局と包括連携協定を締結	令和2年度	R2取組内容 ・マグネット・シールを各200枚作成し、市内郵便局と市公用車に貼付 ・広報はくさんに啓発コーナーを設け、毎月掲載 ・金城大学短期大学部と協力し、パンフレットを作成
				新型コロナ	アドバイザーボード委員が県外在住のため、本部会議中止。今後、WEB等の開催を検討する。
				令和3年度	・定例会を年2回程度開催し、持続可能な取組みの実施について研究。 ・普及グッズの作成・配布、広報活動の推進を予定 ・SDGsの推進に関する包括連携協定を締結している北陸電力に普及について協力を依頼

② 計画的・効率的な事務事業の執行

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
4	中期計画の重点化	⑪都市	事務事業の選択と集中 (140件以下)	令和2年度	中期計画により、事業を選択 H30:127事業、R元:136事業、R2:125事業
				新型コロナ	新型コロナウイルス感染症対策事業優先のため、一部 大型事業の予算化を見送り。
				令和3年度	目標140件以下
5	事務改善の実施	⑯平和 ⑰実施手段	1係1事務改善運動の推進 (全係で1件以上実施)	令和2年度	全係で「1係1事務改善」150日チャレンジ」の取組を実施 H30:169件、R元:164件、R2:172件 全係(159係)がR2.9.2～R3.1.29に取り組んだ。
				令和3年度	9月頃から150日間、全係で実施する予定。
6	事務事業のアウトソーシング等の推進	⑪都市	アウトソーシングの推進 コンビニ交付による発行件数 (住民票等 800件・税務証明書 500件)	令和2年度	マイナンバーカードを利用したサービス開始 ・R3.1/12～住民票などのコンビニ交付。 ・2/1～本庁・支所及び市民サービスセンターに自動交付機設置 ※住民票、印鑑証明、戸籍謄抄本、所得・課税証明等 実績(3か月) 住民票等 1108件、税務証明書 38件
				令和3年度	市HP及び広報等で引き続き周知に努める
7	AI・RPAの活用	⑨イノベーション	AI及びRPAを活用した定型業務の効率化  AI-OCR:紙の申請書をAIとOCRを使って 電子化(エクセル化) RPA :パソコン上で簡単な繰り返し作業を 自動化するもの	令和2年度	特別定額給付金、児童手当、所得照会、統計業務及び ふるさと納税の申込メールの自動印刷等、多数の業務 で使用。 業務の効率化が図られた。
				令和3年度	前年度実施事業で引き続き使用するほか、新たな業務 での活用を図る。 各課に対し活用への依頼と職員研修を実施。

### ③公共インフラの最適化

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
8	個別施設計画の策定	⑨イノベーション ⑪都市	個別施設計画の策定	令和2年度	R3.3月策定 ・白山市公共施設等個別施設計画 ・白山市学校施設長寿命化計画
				令和3年度	
9	公共施設等総合管理計画の充実	⑨イノベーション ⑪都市	適正管理に取り組むことによる効果額の明示	令和2年度	検討(個別施設計画策定待ち)
				令和3年度	公共施設総合管理計画の見直しを実施

## 2 財政戦略

### ① 市税等の自主財源の確保

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
10	税収拡大政策の推進	⑧成長・雇用	企業誘致による税収拡大 新工業団地の整備・分譲	令和2年度	稼働停止中の工場に新たな企業が立地、操業開始
				令和3年度	旭工業団地北部地区の整備を進め、企業誘致を図る。 R3.4.1白山市サテライトオフィス立地促進補助金制度 を創設（対象地域：白山ろく地域）
		⑧成長・雇用 ⑫生産・消費	宿泊客数の増加 <del>(R7:259,000人)</del>  [目標値変更] 白山市総合計画(後期計画)の見直し により、目標数値を変更  令和6年度 218,000人 ※R元年度実績 212,710人を基準として、 年0.5%増を見込む	令和2年度	H30:222,424人、R元:212,710人、R2:107,314人 [R2地域別内訳] 松任:41,642人、美川:25,127人、鶴来7,380人、河内:1,889人 吉野谷:1,342人、鳥越:827人、尾口:19,704人、白峰:9,403人
				新型コロナ	国が実施する観光需要喚起事業の効果を市内宿泊施設へ最大限に波及させること、マイクロツーリズム・自然志向・ローカル志向の観点から、市内の宿泊施設に宿泊し、地域の魅力を再認識してもらう機会を促進するため、市民に宿泊費の一部をキャッシュバックする宿泊応援事業を実施。R3も事業実施。 実績 R2.6.19～R3.3.30 制度利用者数:4,684人
		令和3年度	宿泊施設の廃業・休業により宿泊客の減少が著しい白山ろく地域をはじめ、地域独自の魅力を発信できる着地型旅行商品の造成による宿泊客増を目指す。		
11	納税相談の充実や滞納対策の強化、口座振替の推進等	⑪都市	口座振替率の向上 (42.5%)	令和2年度	R2年度 口座振替率:40.0%(R元:39.7%) R3.2～WEB口座振替受付サービス開始
				令和3年度	納税相談の早期対応に努める。 市税納付書のうちよ銀行対応を検討

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
12	債権管理の充実	⑪都市	市税収納率の向上(99.6%) その他債権の収納率向上	令和2年度	市税収納率(現年度) R元:99.5%、R2:96.0%(見込) R2.7～スマートフォン等による納付の拡大を実施。
				新型コロナ	[徴収の猶予制度の特例] 対象:納期限がR2.2.1～R3.1.31に到来する地方税 収入が大幅に減少した場合に無担保かつ延滞金なしで 1年間徴収猶予できる。 R2徴収猶予額(予算ベース) 743,500千円
				令和3年度	債権管理委員会における強制徴収債権についての情 報共有を徹底する。
13	使用料や手数料の適正な 金額への見直し	⑫生産・消費 ⑯平和	適正な金額への見直し	令和2年度	施設改修に合わせた使用料の見直し(松任ふるさと館)
				令和3年度	毎年度予算編成方針の中で、適正な積算について周 知、見直しを図る。
14	有料広告媒体の創出	⑯平和 ⑰実施手段	広告料収入 5,000千円以上 新たな有料広告媒体の創出	令和2年度	市広報、市HPバナー、コミュニティバス(バス停・車内 等)、水道検針票のお知らせなどの媒体で実施。 R2:4,107千円(R元:4,211千円)前年比▲105千円
				令和3年度	新たな媒体の可能性等について研究する。
15	ふるさと納税制度の推進	⑯平和 ⑰実施手段	ふるさと納税額 (2億円以上)	令和2年度	R2寄附実績:6,105件 129,628千円 (R元:5,919件 207,408千円) 前年比+186件、▲77,780千円
				新型コロナ	巣ごもり消費に合せ、食品の取扱い件数を増やした。 加工食品(ドリア、ハンバーグ)、漬物、デザート等
				令和3年度	R3.6月現在 件数:763件、実績:10,600千円

② 基金の有効活用

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
16	財政調整基金や減債基金の 時宜に応じた有効的な 運用	⑯平和 ⑰実施手段	適正水準の確保	令和2年度	R2年度末(R3.5.31現在)の残高 財政調整基金 2,235百万円 (前年比 ▲169百万円)
				新型コロナ	R2.5月に新型コロナウイルス感染症対策基金を創設 財政調整基金から50,000千円を繰入れし、関連事業を 実施するための財源とした。
				令和3年度	中期事業実施計画のローリングにあわせ、財政計画を 更新し、基金の適正水準を維持する。
17	未利用資産の売却による 公共施設整備基金の 確保と活用	⑯平和 ⑰実施手段	<b>空きスペースの有効活用(3件以上)</b> 空きスペースについては未耐震施設であるなど、 活用が困難であるため、基金の確保に向け、目 標を変更した。  <b>未利用資産の売却件数 15件/年以上</b>	令和2年度	法定外公共物 R2売払実績:18件 7,027千円 (R元 17件 3,848千円 )前年比+1件 +3,179千円 R2年度末(R3.5.31現在)の残高 公共施設等整備基金 273百万円
				令和3年度	未利用資産(法定外公共物含む)の売却を積極的に行い 基金の確保、有効活用を図る



③ 適正な財政規模の確立

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
18	事業実施計画に基づく 財政計画の実行	⑯平和 ⑰実施手段	中期実施計画に基づいた実施	令和2年度	中期事業実施計画に基づく財政計画の実行
				令和3年度	・将来負担を考慮した費用の平準化、計画を議会に示し 事業実施順位や費用の見える化を推進する。
19	財政指標の適正化	⑯平和 ⑰実施手段	経常収支比率の適正水準を維持 (地方税、地方交付税などの経常的な一般財源が、どの程度経常的な経費に充てられているかを示す数値)	令和2年度	経常収支比率 R元:96.8%(前年比+1.6%) 地方税・臨時財政対策債の減、消費税増税、 保育無償化による人件費・物件費、扶助費の増
				令和3年度	経常収支比率の適正維持
20	特別会計及び企業会計の 経営健全化	③保健 ⑥水・衛生	特別会計の健全化 国保:保険税率等の見直し 介護:口座振替の周知徹底 後期:保険料の見直し 墓地:竹松墓地50区画以上/年の貸与 合葬墓の貸与	令和2年度	R2実施内容 ・国保・後期:限度額、「5・2割」軽減判定所得基準額を 改正 ・介護:新規滞納発生を抑制するため、普通徴収での 新規納付者に対し、口座振替納付を推進 ・墓地:竹松墓地 R2貸与区画数 51区画
				新型コロナ	国保・後期:国の財政支援基準に基づき保険税(料)の 減免を実施
				令和3年度	・国保・後期:税率改正の検討 ・介護:普通徴収者に対する口座振替納付を推進 WEB口座振替についてもPR ・墓地:R3.5~竹松墓地公苑内の合葬墓共用開始
				令和2年度	R2.4~白山ろく地域の簡易水道についても公営企業法 を適用することとし、経営基盤の強化やマネジメントの向 上を図った。
		⑥水・衛生	上下水道料金体系の継続的な見直し R元.8の上下水道料金検討委員会からの答申に 基づき、白山ろく簡易水道料金の改定と事業計画 による施設整備を推進する。  [参考] 改定方針 白山ろく簡易水道事業給水区域の給水利用料金を 現行の上水道使用料と統一する。 激変緩和措置のため、R3.4月分から3段階に分 けて、改定(R7.4.~市内統一料金)	令和3年度	料金改定に備え、安全で安心な給水サービスが図られ るよう統合整備事業(配水管接続等)を進める。

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
21	補助金・負担金等の見直し	⑯平和	適正な金額への見直し	令和2年度	当初予算 補助金計上額 248件 2,202,127千円 法人保育園施設整備補助金、多面的機能支払事業費補助金、定住促進奨励金等 R元:2,732,544千円(前年比 ▲530,417千円) ※保育無償化に伴い補助制度を見直し
				新型コロナ	新型コロナウイルス感染症対策事業に係る補助金を補正予算で計上 R2実績:25項目 特別定額給付金、中小企業等応援給付金、 いいとこ白山宿泊応援事業補助金、文化振興事業補助金、 トップスポーツチーム応援事業補助金 等
				令和3年度	当初予算編成時に補助金一覧表を作成し、決算時に決算調書を作成する中で、現状の周知・把握及び随時見直しを行う。
22	セグメント分析の活用	⑯平和	分析により施設を横断的に比較し、公共施設総合管理計画に結果を反映	令和2年度	社会教育系施設でのセグメント分析の研究 分析方法の決定(一部公民館を対象)
				令和3年度	地域ごとに順次分析していく。

④ プライマリーバランスを意識した均衡ある市債の活用

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
23	財政計画に基づく市債の発行と市債残高の抑制	⑯平和 ⑰実施手段	実質公債費比率の適正水準維持 ※収入のうちどれくらいを借金返済にあてているかを示すもの	令和2年度	R2(R元決算ベース) 10.7% (前年比▲0.3%) R元(H30決算ベース) 11.0%
				令和3年度	引き続き、財政計画に基づく市債発行と市債残高抑制を行う。
24	起債事業のスリム化、優先度の明確化、平準化	⑯平和 ⑰実施手段	中期事業実施計画に基づいた実施 有利な起債＝交付税措置の高いもの 充当率100%措置率95%:災害復旧事業債 充当率100%措置率80%:辺地債 充当率100%措置率70%:過疎債、 緊急防災・減債事業債	令和2年度	R元年度末市債残高 83,538百万円(前年比▲1,052百万円) 交付税措置率:約64% デジタル防災行政無線整備事業、公民館改修事業、 白山ろく地域情報通信基盤設備移転・更新事業、 スキー場施設整備事業 等
				令和3年度	中期計画に基づく起債の管理 有利な起債の活用

⑤ 市が出資する外郭団体等の経営改善

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
25	自立的な経営の確立を促進	⑮陸上資源	土地開発公社の経営健全化 ・簿価総額/標準財政規模を20%以下 ・5年以上保有土地の簿価総額/標準財政規模を10%以下	令和2年度	(R2)簿価総額/市標準財政規模 実質4.13% 5年以上保有土地の簿価総額/市標準財政規模 4.09%
				令和3年度	総務省の第3次土地開発公社経営健全化対策に基づき、引き続き経営の健全化に取り組む。
		⑧成長・雇用 ⑫生産・消費	地域振興公社の経営健全化 職員数の適正化(R6年度に42人以下)	令和2年度	人員の削減により経営健全化を図る R2年度 職員数 47人
				令和3年度	R3年度 47人

### 3 人材戦略

#### ① 働き方改革の推進

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
26	ワーク・ライフ・バランスの推進	⑤ジェンダー ⑧成長・雇用	年次有給休暇取得の促進 (R6平均取得日数12日/人以上)	令和2年度	H30:8.5日、R元:8.1日、R2:8.1日
				令和3年度	年次有給休暇や夏季休暇等の特別休暇も含め、取得促進を奨励し、職員に周知を図る。
		⑤ジェンダー ⑧成長・雇用	男性職員の育児休暇取得の促進 (R6取得率20%以上)	令和2年度	H30:16.7%、R元:0%、R2:0%
				令和3年度	対象職員の育児休業取得を促進する。
27	メンタルヘルス対策の推進	⑧成長・雇用	ストレスの少ない職場環境 (R6 高ストレス職員の割合10%以下)	令和2年度	H30:13.5%、R元:15.0%、R2:14.1% 高ストレス職員数 130人/全職員数 924人
				令和3年度	R3目標:13%
28	ハラスメントの防止	⑧成長・雇用	ハラスメント研修の実施	令和2年度	R3.2 管理職を対象としたハラスメント研修を実施 (受講者 96人)
				新型コロナ	庁内テレビ会議システム等を利用し、自席で研修を受講できるように工夫した。
				令和3年度	引き続き、ハラスメント研修を実施

② 多様な人材確保と育成の推進

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
29	女性職員の活躍推進	⑤ジェンダー ⑧成長・雇用	管理職に占める女性の割合 (令和6年度 30%)	令和2年度	R2:28人・26.4% (女性 28人/管理職 106人) [役職別人数] 部長級1、次長級2、課長級18、担当課長級7 H30:23人・21.5%、R元:26人・24.5%
				令和3年度	各種研修や所属長との面談、指導等を通して、職員の資質向上を図り、女性管理職を目指す職員の育成に努める。
30	人事評価制度の活用	⑧成長・雇用	人事評価制度の評価結果の反映 (昇給・昇格・手当への反映)  H28年度～ 一部制度導入 ※勤勉手当算定の参考 R4年度～ 本格運用	令和2年度	・年度当初に当該年度の目標設定 ・年3回の所属職員と所属長との面談、評価結果のフィードバックを実施 ・評価レベルの均一化を図るため、評価者研修を行い、面談の進め方について外部講師による研修を実施
				令和3年度	評価者研修の実施による評価レベルの均一化、マニュアルに沿った人事評価の実施を目指す。
31	研修制度の充実	⑧成長・雇用	指定研修※の受講率向上 (150%以上) ※市町村アカデミー、国際文化アカデミー、NOMA、自治大学校、自治研修センター、職員課企画研修	令和2年度	R2:65.1% (受講者数500人/職員数768人) ※研修中止や受講者数制限、県外研修への派遣見送り等 H30:111.4%、R元:111.2%
				新型コロナ	庁内テレビ会議システム等を利用し、自席で研修を受講できるようにした。
				令和3年度	計画的な研修の継続を行う コロナ禍での事業の優先順位を考え、研修予算を削減

## 4 市民協働・広域連携戦略

### ① 市民協働で創るまちづくりの推進

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
32	地域が自主的、主体的に考え組織し、行動するまちづくりの推進	①都市 ⑦実施手段	地域コミュニティ組織の創設 全地区(28地区)	令和2年度	・市民協働でつくるまちづくり指針策定委員会を開催 ・モデル地区設立準備会6地区中、2地区で組織設立 令和2年度モデル地区 6地区 (山島・千代野・石川・蝶屋・館畑・白峰)
				令和3年度	モデル地区において地域コミュニティ組織設立に向けた試行的活動の実施 ・市民協働で創るまちづくり指針策定委員会から4/9 市長に答申。地域予算制度等について協議 ・モデル地区をさらに10地区程度増やして取組を検証
33	女性や若者、高齢者の参画に基づく地域づくり	①都市 ⑦実施手段	多様な市民が地域づくりに参画する 機会の創出 (講習会 年1回以上)	令和2年度	R2開催内容 ・女性たちの地域づくり意見交換会(1回) ・モデル地区報告会(2回)、まちづくりフォーラム(1回)
				新型コロナ	各地区からの参加者を2～3名程度に制限して開催。
		令和3年度	まちづくり塾、モデル地区の活動報告会の開催等		
		③保健 ①都市	高齢者が参加する研修会の開催 サポーターを増員 ・介護予防 10人/年、生活支援 10人/年 認知症 750人/年	令和2年度	R2開催内容 生活支援サポーター養成講座1コース(2回) 介護予防サポーター養成講座1コース(3回) 認知症サポーター養成講座(9回) ※生活支援・介護予防スキルアップ講座は開催中止
新型コロナ	参加人数の制限、名簿作成、体調・体温の確認 認知症サポーター養成講座でオンラインの活用を検討				
令和3年度	引続き高齢者が参加できる研修会を開催				

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
33 (続)	女性や若者、高齢者の 参画に基づく地域づくり (続)	⑤ジェンダー	審議会等の女性委員比率(40%)	令和2年度	R2:30.4%(135団体 女性 359人/全体 1,182人) H30:30.4%、R元:31.2%
				令和3年度	部局別の女性登用率や女性人材リスト登録者を掲示するなど、登用率の推進に努める。
		⑰実施手段	市内全域に町内会の福祉協力員を配置 (R6までに280町内会に配置)	令和2年度	R2 262町内会(前年比+7町内会)
				令和3年度	・町内会の実情に配慮しながら、福祉協力員の配置に向け働きかける。 ・先進的な地区の事例発表の機会を設ける。

② 市民・市民活動団体・高等教育機関等との連携推進

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
34	オープンデータ等行政情報の提供による市民との自主的、自発的な活動の支援	⑨イノベーション	石川中央都市圏単位で共同データを公開	令和2年度	石川中央都市圏で決定した項目について、全て公開
				令和3年度	新たな公開データの研究
		⑪都市	まちかど市民講座を開催 (R6年度 130回以上) ※内容を工夫し、市民の意見や提案を聴けるようにする。	令和2年度	R2 76件 (市民協働でつくるまちづくり、マイナンバーカード関連等) H30 95件、R元 120件
				令和3年度	講座のテーマ:61項目(うち新規4 チャットボットの利用など)
35	高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取組みの充実	⑪都市 ⑰実施手段	高等教育機関との連携事業数を増加(70件)	令和2年度	高等教育機関等連携事業 R2実績29件(うち新規2件) ※継続43事業中、16事業が中止
				新型コロナ	事業の中止、代替開催。オンライン会議導入の検討
				令和3年度	・高等教育機関と連携した地域課題に対する調査・研究の実施 ・大学コンソーシアム石川の地域課題研究ゼミナール支援事業や高等教育機関との連携により、専門性を活かし、地域課題の解決や活性化を目的とした事業の調整等を行う。
(3)	SDGsの推進(再掲)	⑰実施手段	SDGs推進に向けた団体との連携充実 (毎年5団体以上と連携して事業を実施)	令和2年度	関係団体と連携した普及啓発活動を実施。 R2 9団体 (金沢工業大学、NTTドコモ、国連大学、白山青年会議所、吉本興業、金城大学短期大学部、北陸電力、日本郵政、北國新聞)
				新型コロナ	WEB会議の活用
				令和3年度	各種団体と連携し、普及啓発活動を行う



### ③ 広域連携の推進

	実施項目	SDGs	達成目標 (白山市行政経営指針2020策定時)	現 状	
				R2/3年度 取組内容・目標等	
36	石川中央都市圏における 連携推進	③保健 ④教育 ⑪都市 ⑯平和	連携中枢都市圏における連携推進 ・石川中央都市圏ビジョンに基づく広域的な取組 ・R2.3「石川中央都市圏公共施設等総合管理 広域連携推進計画」を策定	令和2年度	R2 広域連携実施事業 40事業(うち新規 4事業) 金沢市が各市町を訪問し、現況を聞き取り、結果を 情報共有
				令和3年度	R3 広域連携実施事業 70事業(うち新規 31事業) 広域連携予定施設について、相互利用に向けての 課題研究